

平成 2 5 年度

第 4 回公民館運営審議会議事録

平成 2 5 年 1 1 月 8 日開催

平成 2 5 年 1 1 月 2 2 日承認

浦安市高洲公民館

○ 出席委員

委員	長	塙	勉
副委員	長	渡邊	聰子
委員		長島	康晴
委員		佐藤	一枝
委員		中井	寿子
委員		吉田	恭子
委員		工藤	真由美
委員		浜田	芳之
委員		越村	康英
委員		藤瀬	礼子
委員		軽部	節子

○ 説明出席者等

生涯学習部部長	石川	豪三
生涯学習部次長	加藤	茂
高洲公民館長	吉田	敏輝
中央公民館長	中島	貴義
堀江公民館長	石井	一義
富岡公民館長	指田	裕司
美浜公民館長	宇田川	妙子
当代島公民館長	伊藤	勝則
日の出公民館長	高梨	晶子
事務局	鈴木	徳雄
	小泉	清乃

## 平成25年度 第4回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

1 開催日時 平成25年11月8日（金）午後3時～5時

2 開催場所 中央公民館 3階 第3会議室

3 出席者

（委員）

埴委員長、渡邊副委員長、長島委員、佐藤委員、中井委員、吉田委員、  
工藤委員、浜田委員、越村委員、藤瀬委員、軽部委員

（事務局）

生涯学習部部長、生涯学習部次長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、  
富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、高洲公民館主査、  
高洲公民館副主査

4 議 題

I 開会

1. 委嘱状の交付
2. 委員長挨拶
3. 教育委員会挨拶

II 協議

1. 報告事項

- (1) 公民館主催事業（9月～10月）参加状況報告
- (2) 公民館文化祭開催結果について

2. 審議事項

- (1) 公民館利用者研修会計画について
- (1) 公民館主催事業（1月～3月）開催計画

3. その他

- (1) 次回会議の予定

5 議事概要及び会議経過

I 開会

1. 委嘱状の交付
2. 委員長挨拶
3. 教育委員会挨拶

## II 協議

### 1. 報告事項

#### (1) 公民館主催事業（9月～10月）参加状況報告

各館の状況について、各公民館長より報告を行った。

(感想) 中央公民館で実施された小学生のプレゼンテーションは、社会の現場には常に付きまとうことですから、きちんとした形の中で学習することはいろいろな意味でも効果があると思います。段ボールで簡易トイレを作るという形の事業は、浦安市で防災学習は頻繁に行っていますが、小学生以上で親子で行うということは、子どもも共有できるのでよい事業だと思います。

(意見) 堀江公民館や中央公民館ではきぼう青年学級等の事業があり、知的障がい者の生涯学習の視点として行われておりますが、対象者は就労する知的障がい者のみということが気になっております。就労できるくらいの軽度でしたら、ある意味で自分の中で何かつながりをもったり、少しサポートすれば自分で余暇の充実が比較的図れるのではないのでしょうか。対象者を就労していない、またできなかったという方々にしますと、当然、障がい重い方が入ってきますから、スタッフの関係や様々なことが課題としてあると思います。しかし、そういう方達こそ、生涯学習を学べる機会が大変少ないということも現実ですので、就労していない方々にもそういう機会をもっていただくことを生涯学習分野で実施いただけないかと思いました。

(回答) 委員のご指摘のとおり、堀江公民館で実施しているきぼう青年学級は就労している方々への支援事業として実施しております。公民館で行う事業としては、サポートということとさせていただきます。障がい者を対象とした事業については障がい事業課という担当課もございますが、公民館スタッフは専門職ではございません。人数的にもきぼう青年学級の受講生が38名おり、指導は公民館職員の4名とボランティアの方々をお願いしております。このボランティアの方々も専門職ではなく、見守りを中心をお願いしております。重度の方ですと、また、体制から考え直していかなければ、今の公民館としては難しいと思います。

(意見) 私も知的障がい者の生涯学習事業を行っている関係もありますので、その辺の事情も分かっているつもりです。福祉分野で実施しますと自立支援が主体となってきますので、余暇の活動を前面にだした活動は少ないのが現状だと思っています。重度の方は大変だと思いますが、せめて中度の方を対象に何らかの形で充実した事業を沢山やるのではなくて、たとえ僅かでも少しの機会をまた、スタッフのことを考え見ながら、あつたらどれだけそういう方にとって希望の生涯学習事業になるのではないかなと思います。

(回答) きぼう青年学級以外にも公民館で事業を行っております。これは健常者だけが対象ではなく、障がい者の参加も考えていないわけではなくて、公民館の姿勢としてはどうしたら障がい者の方も事業に参加できるのかといつも話

し合い、窓口で対応しています。難しいことは分かっていますが、是非、公民館に話をしていただきたい、相談していただきたいと思います。公民館もこういう姿勢であるということを理解していただきたいと思います。

(意見) 障がい者の青年学級は他の自治体でも行われていると思います。歩いて通ってこれるとか、自分で通ってこれることが条件になっているので、自ずと軽度の方になってしまうのが現状です。委員からのご指摘の重度の障がいをもった方に学習機会を届けていくのかということは重要な課題であって、それをきちんと受け止めて議論していかなければならないと思います。一つの案として、これは公民館ではなくて、教育委員会の事務局が主催、担っていくことですが、外出困難な方に職員が出向いていき、どういった学習ニーズをもっているのかを把握した上で、その方に何回か講師を自宅に派遣するような、福祉の分野で言えばアウトリーチみたいな学習支援を行っている自治体もあります。このようなものを含めて、重度の障がい者の方にもどうやって学習機会を提供し保障していくのかを議論していくことは、大事なテーマだと思いました。

## (2) 公民館文化祭開催結果について

公民館文化祭開催結果について、各公民館長より説明を行った。

(感想) 土曜日と日曜日を見ていると土曜日は出づらいのか出店する団体がやや少ないのではないかと思います。土曜日が空くということは団体を確保の仕方を考えなければならないのかと思います。概括的なことを言いますと古い施設、新しい施設と各公民館で異なりますがお出でになった方の清潔感の感じ方、お年寄りが増えてきていますから老人に配慮した施設であるべきだと思います。施設面で改善していただきたい、例として、和式のトイレではなく、洋式にすべて切り換えるなど、一番清潔感を保つべきトイレは早急に手を入れるとかいう目配りがいるのではないかと思います。イベント的なことを言うと館内放送を始終して欲しい。ぶらっと来たお客さんがどこに行けば何を行っているか、紙は配布されますがわからないこともあるので、館内放送を入れたほうがわかりやすい。

また、サークルの出している内容を体験させていただくことができると、印象が強まるのではないかと。例えば、アンサンブルで四重奏があったのですが、バイオリンをちょっとでも触らせていただいたり、音を出したりすることで感動の違いがあるのではないかと思います。各イベントに出店される団体に出来るだけ物に触れさせるだとか直にやらせるとか時間的に難しいと思いますがそういうことを考えて提案していただくのもいいのではないかと思います。お年寄りが増えてきていますので2階、3階に上がったり下りたりすると疲れますので休憩スペースを置いていただきたい。置いてあったところもあります。そういうスペースも確保していただくとお年寄りも楽ではな

いかと思います。

(質問) 同じ日に2館が同時開催していますが、良いことなのか悪いことなのかピンとこないので、どのようにお考えなのかお聞きしたい。

(回答) 堀江公民館は富岡公民館と同日開催でした。10月は第1週目が中央公民館と日の出公民館、第2週目はスポーツフェア、第3週目が市民まつり、9月の終わりは美浜公民館なので秋の文化祭の日程を組む場合は、どうしてもダブルってしまいます。中央と堀江が重なってしまうと近すぎるので、日の出公民館と中央公民館でしたら、遠いので大丈夫ではないかと、堀江公民館と富岡公民館は若干近いですが湾岸道路を挟んでおりますのでダブル開催であっても大丈夫かなど、その点を考えながら決めております。これを1公民館ずつにしてしまうと日にちの設定がきつくなりますので、このような形になりました。また、実行委員会で決めています。3館が同日開催は厳しいですが2館の同日開催は致しかたないと思います。

(感想) 定期利用の廃止に伴い、今までは定期利用団体が中心に行っていたが、その他の団体が実行委員会に加われれば、発表も増えるのではないかと。活性化するのではないかと。手続きは複雑になると思いますが、よい方向にできるのではないかと。それぞれが新しい違った文化祭への参加の仕方が生まれてくるのではないのでしょうか。チャンスに変えていく必要があるのではないかと。開催日のことですが、これだけ地域や学校との連携、協力が進んでいると根幹的なことである文化祭の開催日は変えない方がいいのではないかと。一つ変えると他との調整ができなくなったり、市の大きな行事もあり、各公民館と各学校との調整も出てくるので、あまり変えない方がいいのではないかと。

(感想) 定期利用廃止に伴い、文化祭参加を団体ではなく、個人枠がもしもあれば、個人の人たちも自由に参加できるのではないかと。団体には所属していないが、自分の趣味を公の場で発表できれば、拡大の方向になっていくのではないかと。

(質問) 高洲公民館以外の公民館で土曜日の夕方ダンスパーティーを行っています。文化祭の一つの目玉と思っていますが、発表の場として当該サークルが踊るのはいいですが、外部にはどのように映っているのか、発表の場だけではなく、交流の場として外部の方も一緒に参加していただいています。公民館の方は、どのようにとらえているのか伺いたい。

(回答) ダンス愛好者の皆さんの発表の場と思っていますので、大勢の方が来られていくつかのグループが集結するのですから交流が図られているということで意義があるのではないかと。皆さんの踊っている姿を見ますとみなさん楽しそうにしていますので、文化祭の種目でいいですと発表、交流の場になりますので今のままでよろしいかと思っています。

## 2. 審議事項

### (1) 公民館利用者研修会計画について

公民館利用者研修会について、中央公民館長より説明を行い、承認をいただいた。

### (2) 公民館主催事業（1月～3月）開催計画

1月から3月の公民館主催事業開催計画について、各公民館長が説明を行い、承認をいただいた。

## 3. その他

### (1) 次回定例会議の予定

事務局より次回の第5回公民館運営審議会は、1月10日(金)午後3時から、美浜公民館で開催することを確認した。

以上で平成25年度 第4回浦安市公民館運営審議会は閉会した。